第４３回　群馬大学共同教育学部附属特別支援学校　公開研究会
事後アンケート回答

公開研究会にご参会いただいた皆様ありがとうございました。当日，時間の都合でお答えできなかった意見や事後アンケートでいただいた疑問点について，この場を借りてお答えさせていただきます。

【研究基調について】

・一体的とはどのような意味で使ったのでしょうか？

回答

「個別最適な学び」と「協働的な学び」のどちらか一方を授業に取り入れただけでは子どもたちの学びは深まらないであろうと考えています。そのため，単元全体の中で「個別最適な学び」と「協働的な学び」が様々な場面で組み合わされ，それぞれがつながり学びが深まっていく状態を一体的な充実と考えました。一体的な充実については次年度の研究でさらに深めていきたいと考えています。

【公開した授業について】

〈小学部　生活単元学習〉

・先生方がそれぞれの好きなものを用意しておくことで、全員が 30 分という長い時間遊べていたと思います。その中で、「自分が好きなもので遊びたい」と思っている子供たちに、友達が遊んでいる遊びの魅力を伝えて、「自分の好きなこともいいが、紹介された遊びで遊ぶことも促していく」のバランスについて、どのようなお考えで指導を進めたのか、機会があれば教えていただきたいです。

回答

好きな遊びに熱中する時間も大切だと考え，時間で区切ることは考えませんでした。紹介された遊びの中にそれぞれの児童の好きなキャラクターや物のイラストを入れるなど，それぞれの児童の好きな要素を入れることで，自分から他のブースにも興味をもって移動できるようにしました。

〈小学部　国語〉

・同じ教室でもグループによって１時間の進度が異なってしまうことは大丈夫なのかなと思った。

回答

実態差に応じてグループを分けたので，場面毎の読み取りにかかる時間が異なることは想定をして指導計画を立てました。読み取りから群読に移る際には，足並みを揃えるために片方のグループには発表に向けて衣装合わせなどの時間を設けるようにしました。

〈中学部　美術〉

・１年生と３年生の３名ずつの集団になっている理由が知りたいと思いました。

回答

本校の美術や音楽，体育などは，生徒それぞれの個別の指導計画の目標を踏まえて，必要に応じて，学年をまたいで，縦割りで学習集団を設定しています。今回の美術の授業では，コマ送りアニメの制作をとおして，自分の作品に関心をもつねらいの生徒と，制作をする中で，自分の表現を振り返ったり，友達の表現を参考にしたりしながら自分の表現の幅を広げるねらいの生徒とを学習集団として設定しました。また，研究会運営上の理由ですが，２年生が数学の提案授業に参加するため，生徒の負担を考慮し，２年生はこの集団に入れませんでした。

〈中学部　美術〉

・個別最適な学びに関して自己調整していく要素がどのように入っているか知りたいと感じました。子どもたちは周囲の様子を見て、どのように調整していたのか、どのような調整があった結果が今日なのかという点が知りたいです。

回答

対象生徒Ｃさんについて，回答します。本題材を構想するにあたり，Ｃさんの目標は，「絵を上下左右に動かすことによって，構図の基礎を考える」という内容を考えていました。

当初は，見本の作品を参考にして，２人のキャラクターをかき，追いかけっこをするように位置を変えており，その場面を教師が撮影しました。Ｃさんは，できたコマ送りアニメを見て，「追いかけっこしているみたいです」と感想を述べましたが，友達の画面に絵が増えていくような作品の表現が気になると，次からは，かいた絵が机の上に徐々に増えていく様子を撮影して，コマ送りアニメをつくりました。そうした様子から，Ｃさんについて，動かし方を試して，表現の違いを楽しむことを重視するようにしました。

学習を進める中で，教師は，Ｃさんの友達がシュレッダーで裁断する折り紙が気になっている様子を見かけた際に，「分けてくださいと言ってみましょう」と伝えたり，何を印刷しているのか気になっている様子を見かけた際には「何を印刷したのか聞いてみましょう」などと伝えたりすることで，Ｃさんと友達とをつなぐ働きかけを常に意識しました。

このように，Ｃさんが友達とやりとりをする中で，試行錯誤が生まれ，表現の仕方を選択し，自己調整しながら，本題材におけるＣさんの個別最適な学習の在り方がつくられていったように感じます。

寄せられた質問への回答は以上になります。この他にも研究会の進め方など大変ありがたいご意見をいただきました。いただいた意見を基に，次年度以降の公開研究会を計画，準備し，多くの方にとって有意義な公開研究会にしていきたいと思います。

今後とも本校の研究についてよろしくお願いいたします。